

範囲指定なし 第1問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 備品¥450,000を購入した際に作成した同額の小切手が、決算日現在、未渡しであることが判明した。
なお、小切手作成時に当座預金を減少させる仕訳を行っている。
2. ×3年4月1日に満期保有目的で購入した福岡商事(株)の社債について、決算整理を行う。決算日は×3年12月31日であり、当該社債の額面金額は¥10,000,000、額面¥100につき¥98で購入、償還日は×8年3月31日であり、償却原価法(定額法)を採用している。
3. 佐賀物産(株)は、先日受け取った長崎産業(株)振出しの約束手形¥300,000を割引きに付し、手形売却損¥20,000を差し引かれた残額を当座預金口座に入金した。
4. 商品¥80,000を購入し、代金は掛とした。なお当社は、商品売買の処理方法として「販売の都度、商品勘定から売上原価を売上原価勘定に振り替える方法」を採用している。
5. 6月15日、従業員の賞与¥4,500,000(前期末に賞与引当金¥2,000,000を計上している)に対して、源泉所得税等の預り金¥650,000を差し引き、残額を現金で支払った。
6. 自社利用目的でソフトウェアを購入し、代金¥1,500,000は小切手を振り出して支払った。
7. 増資にあたり、株式2,000株を1株あたり¥50,000の価額で発行し、払込金は当座預金とした。なお、会社法が認める最低額を資本金とする。
8. 建築物の設計・監理を請け負っている鹿児島設計事務所は、給料¥400,000および出張旅費¥100,000を過日現金にて支払い、記帳もすでに行っていたが、そのうち給料¥150,000および出張旅費¥30,000が特定の案件のために直接費やされたものであることが明らかになったので、これらを仕掛品勘定に振り替えた。
9. ×2年7月1日にアメリカの得意先に商品1,000ドルを輸出し、代金は掛とした。代金の決済日は×2年12月31日の予定であり、×2年7月1日の直物為替相場は1ドル¥120であった。
10. ×9年度末に、沖縄商事(株)は石垣島商事(株)の発行する株式の70%を¥4,000,000で取得して支配した。このときの石垣島商事(株)の資本金は¥3,000,000、利益剰余金は¥2,000,000であった。この場合の連結仕訳(投資と資本の相殺消去仕訳)を行う。

範囲指定なし 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	450,000	未払金	450,000
2	満期保有目的債券	30,000	有価証券利息	30,000
3	当座預金 手形売却損	280,000 20,000	受取手形	300,000
4	商品	80,000	買掛金	80,000
5	賞与引当金 賞与	2,000,000 2,500,000	所得税預り金 現金	650,000 3,850,000
6	ソフトウェア	1,500,000	当座預金	1,500,000
7	当座預金	100,000,000	資本金 資本準備金	50,000,000 50,000,000
8	仕掛品	180,000	給料 旅費交通費	150,000 30,000
9	売掛金	120,000	売上	120,000
10	資本金 利益剰余金 のれん	3,000,000 2,000,000 500,000	子会社株式 非支配株主持分	4,000,000 1,500,000

【解説】

- $(¥100 - ¥98) \div 5 \text{年} \times 100,000 \text{口} \times 9 \text{か月} / 12 \text{か月} = ¥30,000$
- 払込金； $¥50,000 \times 2,000 \text{株} = ¥100,000,000$ 、 資本金； $¥100,000,000 \times 1/2 = ¥50,000,000$
- $1,000 \text{ドル} \times ¥120 = ¥120,000$
- 非支配株主持分； $(¥3,000,000 + ¥2,000,000) \times 30\% = ¥1,500,000$
のれん； $¥4,000,000 - (¥3,000,000 + ¥2,000,000) \times 70\% = ¥500,000$